

NEWSLETTER

インド・ウッタラカンド州山地災害対策プロジェクト(TCP)

期間

12日間

2017年9月4日から9月15日

招へい者

プロジェクトを効果的に実施し、その成果を普及させるために主導的役割を果たすことが期待されている、ウッタラカンド州政府とウッタラカンド州森林局の政策立案に関わる方や官僚の方が、日本に招へいされました。

- ハラク・シン・ラワット氏

ウッタラカンド州森林・環境大臣

- ラムズワミ氏

ウッタラカンド州首席次官

- アヌブ・マリック氏

ウッタラカンド州森林資源管理プロジェクト チーフ・プロジェクト・ディレクター

- モニシュ・ムリク氏

ウッタラカンド州森林局 一等首席森林保護官

- キシャン・チャンド氏

ウッタラカンド州森林局 副森林保護官

大臣のコメント

“森林が多く面積を占める静岡は私たちの州と似ている。学んだ技術で対策を進めたい。”

(2017/9/9, 静岡新聞)

ウッタラカンド州森林大臣、日本を訪問



東京、JICA*本部にて

ウッタラカンドの森林大臣を含むインドの一行が、森林地帯の自然災害対策について学ぶために国際協力機構により招へいされました。これはプロジェクトの一環で、日本の森林保全政策について理解を深めるためのものです。

一行は、林野庁本庁、国際協力機構本部、森林総合研究所への表敬及び林野庁と静岡県が治山対策工事を実施している場所を視察し、現場視察では林野庁職員が斜面对策工について説明し、招聘者達は災害に対する工事の効果について学びました。



静岡県北郷地区において工事内容を説明

プロジェクトのメンバー紹介

プロジェクトのメンバーを紹介します。日本人とインド人が協力してプロジェクトを進めています。

アヌブ・マリク

プロジェクト・
ディレクター



プロジェクト・ディレクターとタスクチーム・メンバー

彼らはウッタラカンド州森林局の職員です。プロジェクト・ディレクターはプロジェクトの最終決定を行います。タスクチームのメンバーがじきに配置される予定で、プロジェクト

に合流次第、ウッタラカンド州の斜面崩壊対策に効果的に働きます。

日本人専門家

彼らは日本林野庁職員と民間のコンサルタントです。山岳地帯で治山対策を実施するための様々な経験と技術を持っています。

エンジニア



北浦 眞吾
チーフアドバイザー

宮嶋 沙織
治山研修、業務調整

横尾 文彦
治山事業設計、積算

原 崇
治山事業調査

上田 具之
施工管理、調達・契約

青木 穂高
施工管理、モニタリング

徳田 誠
研修監理



ジェイ・クマール・シャルマ
チーフエンジニア

ジャガラジ・シン・メラ
設計・積算・調達



プレム・シン・ネギ
フィールド調査

ヴィノッド・ジंकワン
フィールド調査

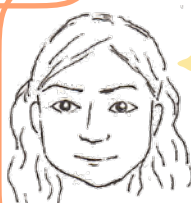


彼らは土木技術の経験があり、山岳地帯での業務を現場で実行します。彼らは日本林野庁職員と民間のコンサルタントです。山岳地帯で治山対策を実施するための様々な経験と技術を持っています。

アシスタント

事務所を運営し、日本の専門家をサポートするために不可欠なメンバーです。

全員がそれぞれのスキルアップをしながら、プロジェクトで大切な役割を果たします。



アミータ・シャルマ
アシスタント

アニータ・パンワル
アシスタント



*JICA: 独立行政法人 国際協力機構